

岩手県立視聴覚障がい者情報センターだより

タペストリー

Tapestry

No.

54

2024.2.29

視覚部門

ガイドの体験をする
参加者



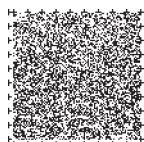
ドコモ・ハーティ講座の様子

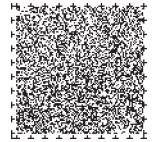
関連記事は
2・3ページ

便利な機器が
ずらりと並んでいます

聴覚部門

関連記事は
5ページ





視聴覚障がい者対応接遇講座

令和5年度

9月15日(金)、当センターが入居しているアイーナ及び盛岡駅周辺で働く方々を対象に、視聴覚障がいの理解と対応について学んでいただく機会として「視聴覚障がい者対応接遇講座」を開催しました。

当日は21名に参加いただき、視覚・聴覚それぞれの障がいの特性のほか、視覚部門では参加者の職場等で想定される視覚障がい者への対応例と誘導のポイントについての説明や、アイマスクを使用しての歩行やガイドの体験を行いました。また、聴覚部門では聴覚障がい者へ必要な配慮と筆談のポイントについての説明や、手話の実践、音声認識で声を文字化する「UDトーク」などのアプリを紹介しました。

この講座で学んだことや体験で得た気づきをそれぞれの職場でのサービス提供に生かしていただき、障がいがある方でもない方も誰もが暮らしやすい社会の実現につなげていただければと思います。



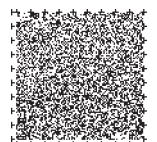
手話を教わる参加者

令和5年度 出前講座

当センターでは、依頼のあった小中学校等へ出向いて出前講座を行っています。今年度は、盛岡市内を始めとして葛巻町や金ケ崎町などからも依頼をいただき、それぞれの学校で実施しています。

出向いた先では、視覚部門・聴覚部門に分かれて講座を進めています。視覚部門では、点字の読み書きの体験のほか、視覚支援学校に通う児童の日常生活を紹介しています。聴覚部門では、空書や手話の体験を通して、音声を使わないコミュニケーションがあることを伝えていきます。

受講した児童・生徒の皆さんが、早速覚えたばかりの手話で挨拶をする様子がみられました。また、「眼の見えない人は何に一番困りますか？」



といった質問もありました。今後も視聴覚障がい・聴覚障がい・盲ろう者への理解が深まるよう、様々な体験を紹介することで充実した出前講座になるよう努めてまいります。



講座の様子

奉仕員表彰

(日盲社協)

第71回全国盲人福祉施設大会において、当センターで活動する奉仕員が表彰されました。例年の奉仕活動者表彰のほか、日本盲人社会福祉施設協議会創立70周年記念として、30年以上活動された方が対象の特別奉仕活動者表彰も行われました。表彰を受けられた方は次のとおりです。(敬称略)。

◎特別奉仕活動者感謝状

桑原 民子 (点訳奉仕員)

鎌田 恭子 (音訳奉仕員)

◎奉仕活動者表彰感謝状

千葉 美恵 (点訳奉仕員)

小松美奈子 (音訳校正奉仕員)

皆様のご奉仕に、心より感謝申し上げます。

文部科学大臣表彰にデージー岩手

今年度の「障害者の生涯学習支援活動」に関する文部科学大臣表彰に、当センターで活動するデージー岩手様が選ばれました。1999年の発足以来、

デジタル録音図書の編集に長く貢献したことが高く評価されての受賞です。

12月12日、東京で行われた表彰式には成田優子会長が出席しました。表彰状は当センターのデージー室でお披露目され、会員の皆様と受賞の喜びを分かち合っていました。

これからもデージー岩手様のますますの発展を祈念するとともに、当センターともに手を携えて、図書製作のパートナーとして歩んでいきたいと思っています。

第5回サロン「スマートフォンを操作してみようーiPhoneSE編」

10月20日(金)にNTTドコモ ドコモ・

ハーティ講座事務局様を講師に迎え、iPhoneSEの音声読み上げ機能を使用した体験会を行い、11名の方に参加いただきました。



操作を教わる参加者

体験会では、実際の端末を手にしながら、簡単な操作方法や音声アシスタント機能「Siri」の利用の仕方、色の識別ができるアプリなどについて学びました。

参加者の方からは「難しかったけど、楽しかった」「購入について前向きに検討したい」というお声がありました。

今後も視覚障がい者向けの最新機器の紹介・体験などを行ってまいりますので、興味のある方は是非参加ください。

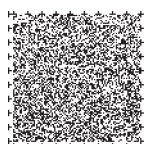
身体障がい者パソコンサポーター現任者研修

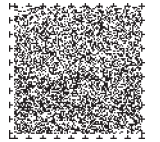
10月2日(月)と11月3日(金)に、身体障がい者パソコンサポーター現任者研修を行い、延べ12人の方が受講しました。

第1回は視覚障害者パソコンアシストネットワーク代表北神あきら氏にExcel指導のポイントについて研修していただき、視覚障がい者がExcelの表をどう把握するかやF12の固有の便利なショートカットなどを勉強しました。第2回は当センターサポーター藤戸雅也氏にNVDA※の基本操作について研修していただき、実際にNVDAを使用してインターネット閲覧などを行いました。

今後サポーターに役立つような研修を企画していきますので、是非参加ください。

※NVDAとは…Non Visual Desktop Accessは無料のWindows用スクリーンリーダー(音声読み上げソフト)です。





意思疎通支援者(手話通訳者・要約筆記者)養成事業

2年の講習を経て15名が修了

11月11日に要約筆記記者養成講習会が、続く19日には手話通訳者養成講習会がそれぞれ全課程を終え、無事修了式を迎えることができました。

要約筆記記者養成では手書きコース7名、パソコンコース4名の合わせて11名が修了。手話通訳者養成では4名が修了しました。新型コロナウイルス感染症予防対策など健康にも留意しながらの受講でしたが、受講生の皆様、講師の皆様の協力により、2年にわたる長い受講を無事終えることができました。

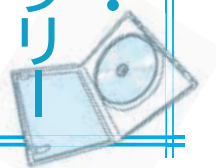
この後、県登録意思疎通支援者となるための試験に合格すれば、翌年度から晴れて意思疎通支援者として通訳活動が始まります。当センターでは修了後も試験対策講座とし

て皆様を引き続き支援しており、手話通訳者を目指す4名は12月2日に手話通訳者登録試験受験を終え、3月の合格発表を待つばかりとなりました。要約筆記記者登録試験は2月に行われ、こちらも3月発表となります。派遣依頼件数は年々増加傾向にあります。一人でも多く意思疎通支援者が誕生し、活躍されることを願っています。



字幕(手話)入りビデオ・

DVD移動ライブラリー



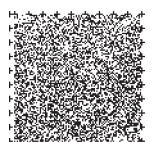
字幕(手話)入りビデオ・DVD作品の普及・利用促進とセンターのPR活動のため、11月11日(土)、第64回若手県身体障がい者福祉大会花巻大会くようこそ、銀河鉄道のまち花巻へ」に移動ライブラリーとしてお邪魔しました。

当日は、自主制作作品「若手県立視聴覚障がい者情報セ



ビデオライブラリーについて説明しています

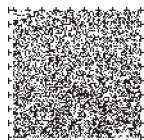
ンターってどんなところ？」をパソコンで上映。興味をもって立ち寄ってくださった方には、当センターとビデオライブラリー事業の説明をしました。このほか、点字つきバリアフリー絵本コーナーでは実際に手に取っていただき紹介することができました。センターやビデオライブラリーについてたくさんの方に知っていただく機会となりました。これからもより多くの方に利用していただけるよう情報発信に努めてまいります。



「きこえない・きこえにくい子どもたちの 「日フリースクール」開催

ふだん、地域の小学校等に
通学している児童・生徒の皆
さんの交流の場作りと保護者
の皆さんの情報交換の場の提
供を目的に、特定非営利活動
法人ユニール様と共催で、1
月13日(土) 当センター研修
室等で開催しました。

ムなどで楽しみました。
児童からは「自分と同じよ
うな人と交流できて良かった」
という感想や、保護者からは
「子どもたちが楽しんでいる間
にふだんの疑問や悩みを共有
相談し合い、良い時間になっ
た」などの感想が寄せられま
した。



あと、センターの
見学、箱の中身当
てゲーム、持ち
寄ったカードゲー



参加した子どもたちがスタジオで撮影の体験をしています

聴覚部門 きこえない・きこえにくい人たちのための 機器展

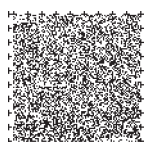
1月19日(金) から28日(日)
まで、聴覚障がい者の暮らし
をサポートする機器・日常生
活用器具を紹介する情報機器
展を4年ぶりに開催すること
ができました。

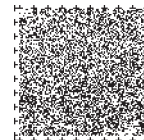
4社から約30点の展覧協力
を頂き、玄関チャイムや目覚
まし時計、火災報知機の警報
音などを「光」「振動」「文字」
に換えて知らせる装置や、音
量増幅・音質調整ができる電
話機、補聴器・人工内耳使用
時のよりクリアな聞こえをサ
ポートする補聴援助機器、骨
伝導ヘッドフォン、集音器な
どを展示しました。

最新の音声認識技術を活用
した「字幕表示システム・
Cotopaxi(コトパッティ)」は、
音声を実タイムに字幕・
動画で表示することができ、
来場者からもその正確さやス
ムーズさに驚きの声が上がっ
ていました。
また、便利なアプリ情報の

コーナーでは、緊急時にスマ
ホの画面操作のみで通報がで
きるアプリのほか、音声を入
字化したり文字を画面に書き
出してコミュニケーションを
支援するもの、タクシーの予
約など、日常生活ですぐに役
立つアプリをまとめて紹介し
ました。

21日には、一般社団法人岩
手県聴覚障害者協会ほか主催
の県民講座「きこえない・き
こえにくい人たちの暮らしを
知ろう」に併せて、アイーナ
7Fのホワイエでも展示、28
日には特別企画「ZETTING説
明会」を開催し、利用方法の
紹介から登録までを丁寧にサ
ポートすることができました。
これらの企画を通じて、今
後より一層「ひとにやさしい、
誰もが暮らしやす
い共生社会」
の実現につなが
ることを期待し
ています。





お知らせ

「タペストリー」は当センター
ホームページからでもご覧になれます。

全 体

* 年度末の図書等貸出停止について 3月25日(月)から3月31日(日)まで

年度末の資料整理及び点検のため、点字・録音図書、DVD、情報機器の貸出しなどのサービスを停止します。この期間は視覚部門閲覧室への入室ができません。録音室、研修室等の施設利用は可能です。

なお、**3月29日(金)はセンター休館日**です。

ご不便をおかけしますが、ご理解をお願いします。

視 覚 部 門

* サピエの全面停止に伴う図書貸出等の停止について 3月4日(月)から27日(水)まで

サピエがサーバー交換等のため完全に停止します。停止期間中は、点字図書・録音図書の検索やダウンロード、他施設所蔵の図書の貸出依頼などができなくなります。25日からは年度末の休館になるため貸出業務の再開は、4月1日からになります。ご不便をおかけしますが、ご理解くださるようお願いします。

* 点訳・音訳・録音図書製作・IT サポート体験会の開催について

目の不自由な方が利用する図書資料（点字図書・録音図書）を製作するボランティアとパソコン操作を支援するITサポートの体験会を開催します。詳細はホームページを御覧ください。

日時：令和6年4月12日(金)

場所：岩手県立視聴覚障がい者情報センター（アイーナ4F）

職員 エッセイ de リレー

「おしゃべり」

情報支援員 築田 康平

ウチには4歳の娘と3歳の息子がいます。

□も達者な年頃で、色々な言葉を話すようになりましたが、それがなかなか楽しいのです。

ある日、娘が「今日テレビでトムトがさ～、足でギターを弾いて歌ったんだよね～」と得意げに話していました。ト、トムト？ 何のキャラクターかなあと考えていましたが、話を聞くとどうやらアニメの「トムとジェリー」に出てくるトムのことを娘はトムトだと思って喋っていた様子。息子は息子で、「今日だしんやってきたんだよ！」とのこと。内科健

診？ いや、ダンスのことか？ と色々考えを巡らせ、最終的に地震の訓練だったことがわかりました。聞いた言葉を自分なりに覚えて、話していることがとても可愛く思えました。

しかし、この楽しいおしゃべりが最近変わりつつあります。絵本を読んでいて「これは牛を乗せる車なんだよ～」と教えたら、息子に「違うよ、これ家畜運搬車なんだけど…」と逆に教えられてしまいました。可愛いなあと思うだけの親バカではいられなくなってきた父です。

次回は小田島情報支援員にバトンタッチ

発行／岩手県立視聴覚障がい者情報センター

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通 1-7-1 いわて県民情報交流センター（アイーナ）4F

TEL 019-606-1743 FAX 019-606-1744 メール iwatesan@aiina.jp

URL <https://www.aiina.jp/site/sityoukaku/>

次回 令和6年6月頃発行予定

「タペストリー」とは

皆で持ち味や個性を織り糸にして、創りあげるセンター、との願いです。感想・ご意見等ありましたら、お寄せください。

